

2015-j1-data-3-2.tex

2015-j1-data-3-2.tex

1年 _____ コース

名前 _____

1. 下の表は、10人の生徒に2種類のテストA、テストBを行った結果である。

生徒番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
テストA	8	9	6	2	10	3	8	4	1	9
テストB	2	2	5	5	2	5	4	4	7	4

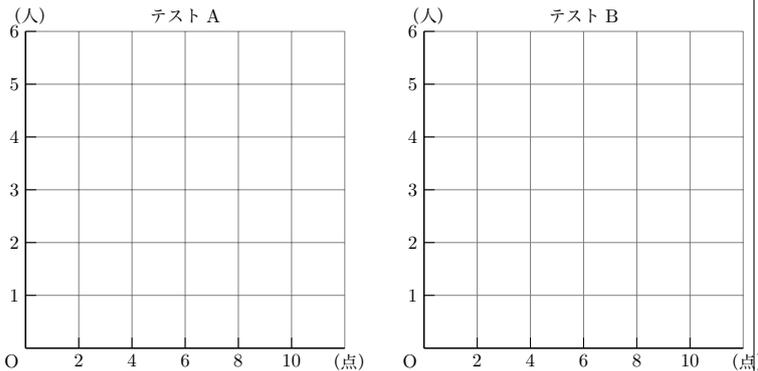
この記録を点数の低い順に並べると、次のようになる。

テストA	1	2	3	4	6	8	8	9	9	10
テストB	2	2	2	4	4	4	5	5	5	7

また、これらの数値を以下のような度数分布表に整理することができる。

テストAの度数分布表		テストBの度数分布表	
階級(点)	度数(人)	階級(点)	度数(人)
0以上2未満	1	0以上2未満	0
2～4	2	2～4	3
4～6	1	4～6	6
6～8	1	6～8	1
8～10	4	8～10	0
10～	1	10～	0
計	10	計	10

上記の度数分布表を、下のグラフ罫線を利用して、ヒストグラムに表しなさい。



資料の分布のようすを調べたり伝えたりするとき、最大の値や最小の値を用いることがある。最大の値から最小の値をひいた値を分布の という。

資料の特徴を調べたり伝えたりするとき、1つの数値で代表させて、それらを比較することが多い。

このような数値を という。

平均値も、代表値の1つである。平均値を求めるには、個々の資料の値の合計を資料の総数で

わればよい。

テストAの平均値は

テストBの平均値は

調べようとする資料の値を大きさの順に並べたときの中央の値を中央値または という。

テストAの中央値は

テストBの中央値は

度数分布表で、度数のもっとも多い階級の真ん中の値を最頻値または という。

テストAの最頻値は

テストBの最頻値は

度数分布表において、区切られた各区間を 、区間の幅を 、各階級に

含まれる値の個数を という。また、各階級の中央の値を という。

	x	y	$x - \bar{x}$	$y - \bar{y}$	$(x - \bar{x})(y - \bar{y})$	$(x - \bar{x})^2$	$(y - \bar{y})^2$
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							